

65歳以上の方の新型コロナウイルス予防接種を実施します

体調の良いときにかかりつけ医で接種しましょう。

予防接種を希望される方は、次のとおり手続きをして接種してください。

新型コロナウイルスの重症化予防として、本人が希望される場合に接種できます。
裏面の「新型コロナウイルス予防接種を希望される65歳以上の方に」をお読みください。

●実施期間 令和7年10月1日 から 令和8年3月31日 まで

●対象者 (1) 阿智村に住所があり、昭和36年3月31日までに生まれた方
※接種日当日に65歳以上の方

(2) 60歳～64歳の方で心臓やじん臓、呼吸器に重い病気のある方

●受け方 ①かかりつけ医に相談します。

②予約をした日に医療機関へ行き、接種します。

●接種日の持ち物

保険証、新型コロナウイルス予防接種予診票、おくすり手帳
(予診票がない場合は、通常の接種料金をお支払いいただきます。)

●料 金 一人 8,000円

接種をした医療機関の窓口でお支払いください。
(65歳以上の生活保護世帯の方は無料となります)

- ◆ 接種回数は、一人1回です。
- ◆ 他のワクチンとの接種間隔については、医療機関や保健センターまでお問い合わせください。
- ◆ 普段の状態を知るかかりつけ医で、体調の良いときに接種しましょう。
- ◆ 12月中旬までの接種をおすすめします。

お問い合わせ 阿智村保健センター 保健師 TEL:45-1230

裏面 ➡

新型コロナウイルス予防接種を希望される 65 歳以上の方に

予防接種を受ける前に

(1) 一般的注意

新型コロナウイルスの予防接種について、必要性や副反応についてよく理解しましょう。予診表は予防接種の可否を決める大切な情報です。責任を持って記入し、正しい情報を医師に伝えてください。

※予診票は必ずボールペンで記入してください

(2) 予防接種を受けることのできない人

- ① 明らかに発熱のある人（体温が 37.5℃ を超える場合）
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 新型コロナウイルス予防接種に含まれる成分によってアナフィラキシー（接種後約 30 分以内に起こるひどいアレルギー反応）を起こしたことがある人
- ④ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

(3) 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人
- ② 前に新型コロナウイルスの予防接種を受けたとき、2 日以内に発熱、発疹、じんましんなど、アレルギーのある人
- ③ 今までにけいれんを起こしたことがある人

(4) 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 予防接種を受けた後 30 分間は、急な副反応が起こることがあります。
医師（医療機関）とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② 副反応の多くは 24 時間以内に出現しますので特にこの間は体調に注意しましょう。
入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ③ 接種当日はいつも通りの生活をして構いませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

副反応が起こったら

ワクチン接種後で比較的多くみられる副反応には、接種した場所の痛みや疲労、頭痛などがあげられます。また発疹、じんましん、かゆみなど、ワクチンに対するアレルギー反応が見られることもあります。副反応の症状が重いときや症状が軽減されないときには、医師の診察を受けてください。

定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要な場合や生活が不自由になった場合（健康被害）は、法律に定められた救済制度（健康被害救済制度）があります。制度の利用を申しこむときは、役場 保健師までご相談ください。

その他、ご不明な点は役場 保健師までご連絡ください。